

PHILHARMONIA QUARTETT BERLIN

フィルハーモニア・カルテット ベルリン

結成30周年記念公演

Four of the Best



ベルリン・フィルの顔

あなたがたの演奏ほど美しい音楽をいつもいつも聴いていたい。

—ユーディ・メニューイン卿—

Program

ハイドン：弦楽四重奏曲第74番ト短調《騎士》Op.74-3

モーツァルト：セレナーデ第13番《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》Kv.525

ハイドン：弦楽四重奏曲第67番ニ長調《ひばり》Op.64-5

ヴェルディ：弦楽四重奏曲ホ短調

ダニエル・シュタープラーヴァ (第1ヴァイオリン) クリスティアン・シュターデルマン (第2ヴァイオリン)

ナイトハルト・レーザ (ヴィオラ) デートマール・シュワールケ (チェロ)



2014

1/10 [金]19:00開演(18:30開場)


青葉区民文化センター フィリアホール —青葉台東急スクエアSouth-1本館5階(東急田園都市線 青葉台駅前)

チケット料金：S ¥7,000 A ¥6,000(全席指定・消費税込) **6月1日[土]前売開始**

[チケット取扱い]・ノアチケット 03-3417-7000

- ・フィリアホールチケットセンター 045-982-9999 (11:00~18:00)
- ・<http://www.philiahall.com/> (24時間オンライン予約) ・<http://www.philiahall.com/mobile/> (モバイルサイト)
- ・フィリアホールメンバーズ先行予約締切：5/10 [金]
- ・チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード 197-811)
- ・e+ イープラス <http://eplus.jp/>

主催：NOAH MUSIC 共催：青葉区民文化センター フィリアホール 後援：ドイツ連邦共和国大使館

/東京ドイツ文化センター 

お問合せ ノアチケット 03-3417-7000

*出演メンバー、プログラムは一部変更される場合があります。未就学児の入場はご遠慮お願い申し上げます。



Four of the Best

ベルリン・フィルの顔

音楽の歓びをこれほどまでに味わせてくれるアンサンブルが、ほかにあるだろうか!

‘Four of the Best’ 最高の四人組、ロンドンのウイグモア・ホールにおけるデビュー・コンサートに対し、ある高名な評論家が感動とともに贈った賛辞である。

‘フィルハーモニア・カルテット ベルリン’は、巨匠カラヤンとともにその豊饒な響きで世界一の名をほしいままにしてきたベルリン・フィルの首席奏者たちによって、1984年に結成された。メンバーの資質は、技術、自発性、集中力、様式感など高い次元で均衡がとれており、弦楽四重奏に必要なものは総べて備えている。

最高峰のオーケストラの“顔”としての四人は、激務のなかで“家族”のような親しさと深い信頼関係を育み、合奏の原点となる弦楽四重奏に日々磨きをかけてきた。

ベルリン・フィルのメンバーの練習好きは有名だが、四人はこれをはるかに上回る稽古を重ね、レパートリーは弦楽四重奏の原点であるハイドンから、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ブラームス、ヴェルディ、ラヴェル、バルトーク、ショスタコーヴィチなど、弦楽四重奏の歴史のすべてを包括するものとなっている。

互いの感動と息づかいを感じ合いながら、この四人だからこそ叶う唯一無二の美しさは、人々を魅了してやまない。

日本におけるその歴史は、1994年に開始され、その後1998、1999、2000、2002、2004、2007、2010、2011年、そして10回目の来日となる2014年には結成30周年を迎える。記念公演は日本からスタートしてアメリカ、ヨーロッパと企画されている。

数多くのCDとともに、ザルツブルク音楽祭、カーネギー・ホールへと羽ばたいていった‘フィルハーモニア・カルテット ベルリン’の有名なヴァイオリニスト、メニューヒンをして「いつもいつも聴いていたい美しさ」と言わしめた魔法の美しさは、弦楽四重奏の理想的な姿として今後も人々の心を酔わせ続けていくことだろう。



1st Violin
Daniel Stabrawa

ダニエル・シュターブラーヴァ
◆第1ヴァイオリン
ポーランド生まれ。数々の国際コンクール入賞歴を誇り、1983年ベルリン・フィルに入団、その後オーディションでコンサートマスターに指名され現在も第1コンサートマスターを務めている。



2nd Violin
Christian Stadelmann

クリスティアン・シュターデルマン
◆第2ヴァイオリン
ベルリン生まれ。ベルリン音楽大学でトーマス・ブランディスに師事したのち、1985年ベルリン・フィルに入団、1987年から第2ヴァイオリンの首席奏者の地位にある。



Viola
Neithard Resa

ナイトハルト・レーザ
◆ヴィオラ
ベルリン生まれ。ミシェル・シュワルベ、マックス・ロスターに師事。奨学金を得てマイケル・リーにヴィオラを師事、1978年ドイツ音楽評議会コンクールに入賞後ベルリン・フィルに入団、2011年までヴィオラの首席奏者を勤めた。



Cello
Dietmar Schwalke

ディートマル・シュワールケ
◆チェロ
ハンブルク近郊のビーネブルク生まれ。アルトゥール・トレスター、ウォルフガング・ベツチャーに師事。1994年のベルリン・フィル入団以来、室内楽奏者として楽団内のアンサンブルから引手数多の活躍中。